

イ・ヨンギョ（韓国）



皆さまこんにちは。私は韓国出身のイ・ヨンギョです。最近、韓国は大統領の弾劾によって大きな政治的混乱に直面しています。また、少し前には悲慘な飛行機事故が発生し、179 人の命が奪われました。このような困難な状況の中、私は ADRC の客員研究員プログラムに参加するために来日しました。このような機会を与えていただいたことに感謝する一方で、重い気持ちを抱かざるを得ません。私は現在、韓国火災予防協会（KFPA）に勤務しています。

ですが、韓国政府の支援により、今回のプログラムに参加することができました。

1995 年 1 月 17 日、日本では阪神・淡路大震災が発生しました。当時、私は卒業を控えた高校 3 年生でした。日本は韓国の隣国であるため、震災の悲慘な光景は今でも忘れられない記憶となっています。今年は震災から 30 年目にあたります。2025 年 1 月 17 日、私は ADRC の客員研究員プログラムに参加する他の客員研究員たちや ADRC スタッフとともに 30 周年記念式典に出席しました。その厳粛な雰囲気が、私に深い印象を残しました。

実は、神戸を訪れたのは今回が初めてで、神戸の街はとてもきれいだと感じます。震災から 30 年経った今、神戸の街を見ていると、「Build Back Better」というスローガンの象徴的な例であると目の当たりにしたような気がします。

今回のプログラムにおきまして、アジアをリードする日本の防災技術や文化から学び、その知識を韓国に持ち帰って多くの人と共有したいと思います。この客員研究員プログラムは、間違いなく私にとって忘れられない経験となるでしょう。韓国を代表して、ADRC の皆様に心から感謝申し上げます。